

# 生活環境学科の先生からのおすすめ図書紹介

## 伊藤 睦子 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">やすらぎの住居学：100の発想</a>	清家清 著	情報センター出版局
	準備中	

### 先生からの推薦文

この本は建築家・清家清が考える日本の家族のための住まいに関する100のトピックを紹介する書籍です。1つ1つのトピックは短くまとめられ、すきま時間でも読みやすい構成で、またエッセイ調の文章で語られており、住まいについて学びはじめたばかりの人でも理解しやすい書籍です。清家の考え方に触れ、自分ならどう考えるかと思いを巡らせながら、興味のあるトピックから読み進めていくことがおすすめです。住まいに関する新たな視点を得るための一助として活用してください。特に「第5章 家内安全の方法」では、建築家の視点からの階段や扉などの部位ごとに安全上の配慮が記述されており、面白く読めるのではないのでしょうか。安全への配慮が居心地の良さや住みやすさにつながっていくことがわかります。興味を持った方は、ぜひ一読してみてください。

同じシリーズで家族生活を中心とした「ゆたかさの住居学」、高齢期の生活を中心とした「やさしさの住居学」も出版されています。興味のあるものから、手に取り読んでみて下さい。

## 小町谷 寿子 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">不便益のススメ：新しいデザインを求めて</a>	川上浩司 著	岩波書店
	081/79/891	

### 先生からの推薦文

読書の課題が出されて億劫なあなたへ  
新しい環境や学びに緊張し、戸惑いを感じているあなたへ  
私は、本を選ぶことと読書に苦手意識があります。研究室には学生の頃にちょっと気になって購入した美術館・博物館の図録が溢れています。

さて、1年生のみなさんに本を紹介する・・・困りました。積読(つんどく)で読んでいないのですから。目に入ったのが「不便益のススメ」。私の父が高校生の息子(孫)に贈った本です。夜中のラジオで紹介されていたのでと送った趣旨は不明です。目にとまったのだから読んでみました。所要時間は2時間半くらい。

まず、エピローグが面白いです。大学1年生で実家(便利)から一人暮らし(不便?)を初めた時のさまざま気づきです。さらに読み進めると、短い事例が次々と示され、読書が苦手な私にも読みやすいです。気になるキーワードを以下に抜粋します。目にとまった方は、本書を手にとってはいかがでしょうか。

「道に迷ってやろう」「ちょっとはみだしてみるのも面白そうです」「入試では全人格は測れない。すまんね」「バリアフリー」「IKEA効果」「自分の手の届く範囲」「不便だからこそ得られる益があるんだ」

<a href="#">神様の御用人</a>	浅葉なつ 著	メディアワークス
	S9/11155	

### 先生からの推薦文

神様の数え方を知っていますか? 1柱、2柱と数えます。古事記に登場する神様(読み方もわからない神様たち)の世界をちょっとのぞいてみませんか。古来より、日本には沢山の神様が祀られてきましたが、時代とともに忘れられて力を失った神様の御用をいつかのが、主人公の萩原良彦(24歳のフリーター)。神様の御用とは、とても恐れ多いものと思いきや、わがまま満載、無理難題の御用に四苦八苦しつつ、隠された思いを読み取り、神様の心を満たす、御用人(代理)の主人公と相棒の「もふもふ狐(実は方位神という太古からの神様)」のお話です。神様と人とはある意味同じものという考え方に驚き、人の生きる時間の短さを感じ、今の大切さを改めて思うきっかけとなるかもしれません。読みやすくやわらかいトーンの話の展開に皆さんも心も満たされ、また、甘いもの好きの「もふもふ狐」に癒されることと思います。



## 坂本 麗香 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">女子と就活 : 20代からの「就・妊・婚」講座</a>	白川桃子, 常見陽平 著	中央公論新社
	S3/8914 他	

### 先生からの推薦文

これからの時代の女性の人生は、就職(仕事)・妊娠(育児)・結婚(独身も含めた私生活)をそれぞれ別々に考えるのではなく、3つを連動して考えることが重要となります。どれかを手に入れるために他のものを諦めなくてもいい、むしろ「3兎を追わないものは2兎も得ず」であり、ぜひ、貪欲に人生にチャレンジしてください。

いま、多くの30-40代の女性が、女性の生き方について、もっと若い20代前半のうちに色々なことを知っていれば違った人生の選択になったのではないかと感じています。「手遅れになる前に、教えてほしかった…」という後悔を根絶すべく、「婚活・妊活の提唱者」である白河さんと、キャリア関連の専門家として大学で教鞭をとっている常見さんのコラボ講義が実現。就活に苦戦する女子も、将来が見えない女子も、不安の正体がわかれば怖くない! まだ10代なのに早すぎる?!結婚や出産の時期を前もって計画するなんて夢がなさすぎ?!と思うかもしれませんが、皆さんにとってもきっと有益な内容となります。それにしても、「就・婚・妊」ではなく、「就・妊・婚」という書名に、時代の変化をひしひしと感じます(笑)。

<a href="#">サンリオピューロランドの人づくり：来場者4倍のV字回復!：笑顔とモチベーションを引き出す館長の30カ条</a>	小巻亜矢 著	ダイヤモンド社
	S6/18003	

### 先生からの推薦文

赤字が続いていたサンリオピューロランドの経営を任された小巻亜矢さん。様々な工夫やチャレンジにより、設備投資にほとんどお金をかけずに、わずか2年で来場者4倍のV字回復に成功しました。そこにはどんな秘密があったのでしょうか?

顧客ターゲットの変更(幼児向け→大人向け)、日陰にいたキャラクターにスポットライトをあてる、インスタ映え、SNS活用などのお客様向けの変革と同時に、1日12回の朝礼、「お試し」「期間限定」として次々に新しい取り組みを実施、スタッフのやる気を取り戻したコミュニケーション術などの職場改革がありました。

経営者としてだけでなく、著者の人生(専業主婦11年からの復職、幼い息子の死、シングルマザーとして2人の子育て、2度の癌、52歳からの働きながらの東大大学院進学など)についても描かれており、私生活と仕事とが密接に結びついて人としてのキャリアを作っていくことに気づきます。

サンリオキャラクターに興味がある人はもちろん、そうでない人も、楽しんで読みながら、女性のキャリアやビジネスについての学びのヒントを感じて、笑顔になれる本です。

<a href="#">イケカジなほくら1 お弁当コンテストを攻略せよ☆</a>	川崎美羽 著	角川書店
	SJ9/12542	

### 先生からの推薦文

中学生のアオイは、クールでイケメンな桜庭くんに一目惚れ。勢いで告白したけど、「ボタンの取れかけた服を着た子に興味ない」と完全拒絶。モデルを目指して自分磨きしていたつもりだけど、内面も磨かなきゃ!と家庭科部ならぬ「イケカジ部(=イケてる家事をする部活)」を創設し、修行開始!

キャリアウーマンの母親に代わって家事力完璧になった桜庭くんは、家事をする自分は男らしくない、好きでやっている訳ではない、と否定的でした。でも、「家事ってとても大切なことで、桜庭くんはすごいんだ!」と言い続けるアオイの真っ直ぐさに次第に心を開いていく過程が丁寧に描かれる、家事×恋愛ストーリーです。

続きの巻では、頑なだった桜庭くんが、家事が得意な自分を肯定し、母と自分を捨てた(と思いこんでいた)父親と同じ料理人になることを夢見ていきます。その一方で、アオイの幼馴染・一弥も含めた三角関係も進展して…?!

ローティーン向けの小説ですが、皆さんには、淡い恋模様も楽しみながら、「家政学」「生活学」を学び、実践する意義にもぜひ思いを寄せてもらえたらと思います。ちなみに私は桜庭派、小学生の娘は一弥派で対立しています。



## 竹内 正裕 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">教えるということ</a> <a href="#">(読書感想文コンクール課題図書)</a>	大村はま 著	共文社
	S3/12577	

### 先生からの推薦文

わかりましたか？静かにしなさい！は禁句にしたい。それはなぜか、ではどうすれば良いのかを、国語指導で大きな功績を残された大村はま先生が述べています。教師という職業人に徹した大村先生が語る教室でのエピソード、すぐれた技術としての「教える」とは何かがわかる本です。教師として「子どもが好き」だけではだめであるとも述べています。この内容は以前、教員採用試験の論作文問題としても取り上げられています。なぜだめなのか大村先生の考えに触れてみてください。興味のある人は、大村先生の教育実践を中心に書かれた「教室をいきいきと1と2」をさらに読み深めると、あなた自身の「教育」観が構築されると思います。

## 武岡 さおり 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">スマホ脳</a> <a href="#">(読書感想文コンクール課題図書)</a>	アデュー・ハセノ 著 久山葉子 訳	新潮社
	S4/21338	

### 先生からの推薦文

iPadやiPhoneを世に送り出し、映画や音楽の楽しみ方やコミュニケーションの手段を大きな変化をもたらしたアップル社。その創業者スティーブ・ジョブズは、10代のわが子のiPad使用時間を厳しく制限していたことをご存じですか？マイクロソフト社の創業者ビル・ゲイツは、子どもが14歳になるまでスマートフォンを持たせなかったことは？新しい技術は、さまざまな形で私たちの生活を豊かにしてくれます。ただし、物事には一長一短があり、それは私たちが日々使用しているスマートフォンも例外ではありません。

この本には、人類が生き延びるために獲得してきた脳のさまざまな仕組みが現代の社会生活においてどのような反応を示すのか、また、スマートフォンが私たち、特に子どもや若者の心や体にどのような影響を与えるのか、根拠とともに分かりやすく丁寧に書かれています。スマートフォンをつい手に取ってしまう自分の行動の裏にはこんな理由があったのか、だからIT企業のトップは子どもにiPad使用時間を厳しく制限していたのかと、読み進める中で納得できるのではないのでしょうか。スマートフォンに操られるのではなく便利な道具として使いこなすために、ぜひ読んでほしい1冊です。

## 間瀬 清美 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">迷わない。</a>	櫻井よしこ 著	文藝春秋
	S2/9603	

### 先生からの推薦文

著者の櫻井よしこさんは、皆さんもよく御存知の有名なジャーナリストで、キャリアは40年になるそうです。記者や「きょうの出来事」のキャスターを務めるなど様々な経験を積んで30歳代になった頃「ああ自分は大丈夫だ。これでもう大丈夫、ちゃんと生きていける。」とそう腑に落ちて感じた瞬間を鮮明に覚えているそうです。まさに『迷わない』を実感した瞬間です。この瞬間はポッターとしていて得られるものではありません。一つのことを一所懸命にやってきたからこそ、得られるものだと思います。櫻井さんも「小さな成果をいくつも重ねてきた結果として、これからはきっと同じようにひとつひとつの事をやり遂げることができるだろう。そんなささやかながら意外にしっかりした自信が生まれたのではないかと思います。」と語っています。何かを継続して得る手応え感に皆さんもきっとこれから遭遇していくことでしょう。一つのことにとこだわり、修行のように耐えて熱意を示した時、迷わないという自信とともに人生が切り開かれてくることを教えてくれるような勇気を与えてくれる一冊です。



## 間宮 貴代子 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">京都でのんびり：私の好きな散歩みち</a>	小林由枝 著	祥伝社
	S2/9754	

### 先生からの推薦文

「京都でのんびり」は、読んでいると京都に行きたくてわくわくする一冊です。京都を紹介している内容なのに、写真は一枚もなく京都の名所をイラストと文章で説明しているところがとても好きです。この本を片手に持って、のんびりと京都を散策するのもいいですが、部屋で読んでいるだけでも、訪れたことのある場所が目には浮かび京都の良さをますます強く感じさせてくれます。寺院や京都ならではの食べ物のイラストも目に心地良く入ってくるので読み物としても、とても面白いです。特に好きなところは、祇園、西陣、北野、哲学の道など、いろいろな名称の由来やその場所の説明が筆者の目線や言葉で語られているところや、そして、そこにまつわるお話も合わせて語られているところです。たとえば、下賀茂神社の御手洗池に足を付けて、身を清めて無病息災を祈った後のお楽しみで食べるお団子が「みたらし団子」の発祥であることや、名前の場所を指定するときに使われる「上ル、下ル、西入ル、東入ル」の意味、五山の送り火のならわしや、まじないなどが紹介されています。京都をとて身近に感じて、のんびり歩いて回りたくなるような一冊です。

## 三宅 元子 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">置かれた場所で咲きなさい (読書感想文コンクール課題図書)</a>	渡辺和子 著	幻冬舎
	S1/7758	

### 先生からの推薦文

何かに迷ったとき、悩んでいる時に読むと心が軽くなる本です。毎日の生活のなかでは「こんなはずじゃなかった」と思うことが、次から次に出てきます。そんな時にも、その中で「咲く」努力をしてほしいとやさしく語りかけてくれます。一方、「どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。」と勇気を与えてくれます。そして、どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続け、「現在」というかけがえのない時間を精一杯生きようとする力を与えてくれます。

## 横山 早美 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">なぜか感じのいい人が気をつけていること</a>	山崎武也 著	三笠書房
	S1/21634	

### 先生からの推薦文

「なぜか感じのいい人が気をつけていること」著者 山崎武也氏はビジネスコンサルタントとして活躍され、彼の経験豊富な人生観に基づいたアドバイスが分かりやすい文章で客観的に述べられています。

人はだれしも他者から良く見られたい、受け入れて欲しいという願望をもつのは自然のことです。そのためにはどうすれば良いかと悩み変わろうとする努力が成長の糧となり、他者から「なぜか感じのいい人」に近づけます。しかし、それを意識し過ぎて本来の自分を見失う危険性を孕んでいます。特に若い世代や人付き合いが苦手、人の目が気になる方に多いように思います。でも、本来のあなたの性格を受け入れ自分を認めることから始めましょう。「なぜか感じのいい人」の一定基準は何もないのですから。

私は若い頃から、友人と群れて行動するのが苦手で、いつも自分のこころに従って生きてきました。今と違って、自宅に戻れば友人との連絡は遮断され、自分だけの時間を持って時代だからそんな生き方も許されたのでしょうか。

皆さんは、インターネットの普及で特にスマートフォンを四六時中見ていませんか。スマートフォンの長時間の使用によって脳は疲労しますが、読書は読む人の共感力や創造力を鍛えるだけでなく語彙も増え、脳の活性によいと言われています。

「なぜか感じのいい人」とは他者への気配りがさらりとできる方で、前述した共感力や創造力が求められると思います。

少しデジタル世界から距離を置き、読書に親しむ時間をもつことで、あなたのこころと頭のリフレッシュをしてください。

## 吉田 競人 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">天才と発達障害：映像志向のガウディと 相貌失認のルイス・キャロル</a>	岡南 著	講談社
	141/647	
先生からの推薦文		
<p>「サグラダ・ファミリア聖堂」の設計者として有名なアントニオ・ガウディと数学者で「不思議の国のアリス」などの小説で有名なルイス・キャロル。二人ともいまでいう発達障害。彼らの認知様式の差異を取り上げ、新たな教育の可能性が生まれることを示した発達障害に対する画期的な科学書。</p>		
<a href="#">ピカソは本当に偉いのか？</a>	西岡文彦 著	新潮社
	S7/19707	
先生からの推薦文		
<p>なぜ、あんな絵が美しいのか？なぜ、あんな絵が高いのか？自分には審美眼がないのか？とピカソや現代美術に対し不信感を抱く人々へ答える好著。これまでの美に対する疑問が氷解します。</p>		

## 山田 千聡 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">愛するということ</a>	エーリッヒ・フロム 著 鈴木晶 訳	紀伊國屋書店
	158/13	
先生からの推薦文		
<p>皆さんは「愛する」ことについて、真剣に考えたことがありますか？本書は普遍的で学問とは無縁なものと思われがちな「愛」の概念に対する発想を大きく転換させてくれます。家族や友達、そして好きな人に「愛されたい」と願う人は大勢いますが、筆者のエーリッヒ・フロムは、人を「愛する」ことの大切さを今から60年以上も前に説いています。さらに、原題The Art of Loving（『愛する技術』）が示す通り、彼は愛する対象を見つけることより、愛する「能力」や「技術」を磨くことが現代を生きる私たちに必要であると指摘します。大学生活で多くの人々との出会い、人間関係に思い悩むこともあるでしょう。他者に好かれたい、という欲にとらわれ過ぎてはいないですか？「愛する」技術を身につけるためには、「知力」と「努力」が必要です。様々な学問や経験を通して、人を愛する大変さと喜びを知り、将来の社会人・家庭生活に活かしてほしいと願います。本書は人を愛する方法を詳しく教えてくれる訳ではありません。哲学や心理学に関する多少難解な用語や考え方が登場しますが、それらを理解しようと試みることで、新しいものの見方、そして新しい自分に出会うことができるはずです。</p>		

## 渡部 容子 先生

書名	著者名	出版社
	請求記号	
<a href="#">障がいのある子の就学・進学ガイドブック, 改訂新版</a>	渡部昭男 著	日本標準
	J31/2	
先生からの推薦文		
<p>～教職課程を履修している学生、そうではない学生にも推薦します～ この本の説明は、以下のように書かれています。 “障がいのある子の就学・進学はどうしたらいいのでしょうか？ 行政で活用できる制度や地域のなかでの支援にはどのようなものがあるのでしょうか？ 子どもたちの進路には、小学校、中学校、通級指導、特別支援学級、高等学校、特別支援学校/高等部/専攻科・・・さまざまな選択肢があります。そして、活用できる公的制度や地域において生涯にわたる支援がたくさんあります。 それら一つひとつについて、また「特別ニース教育」という新たな考え方について丁寧に解説するとともに、そうした権利が児童憲章や子どもの権利条約など人権保障の考えに裏付けられたものであることを明らかにしています。 子どもたちの生涯をつうじた学びと成長のために「豊かな連携」を築き、複数の目で育てていくためのガイドブックです。“特別ニース教育・教育行政学の研究者である著者は、特別支援学校の校長兼務の経験も長く、実用的であり、かつ理論的な著作です。教育原理、教育制度論等にも関わる内容です。”</p>		

# 生活環境学科関連おすすめブックリスト

専門についてより深く学びたい、あなたに  
おすすめのブックリスト

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">一房の葡萄</a>	有島武郎 著	旺文社	080/108/17
<a href="#">大往生</a>	永六輔 著	岩波書店	080/132/329
<a href="#">フランス家族事情：男と女と子どもの風景</a>	浅野素女 著	岩波書店	080/132/404
<a href="#">地球温暖化を防ぐ：20世紀型経済システムの転換</a>	佐和隆光 著	岩波書店	080/132/529
<a href="#">日本語の古典</a>	山口仲美 著	岩波書店	080/132/1287
<a href="#">住宅は骨と皮とマシンからできている：考えてつくるたくさんの仕掛け</a>	野沢正光 著	農山漁村文化協会	080/136/2
<a href="#">洋裁の時代：日本人の衣服革命</a>	小泉和子 編著	OM出版	080/136/ 6
<a href="#">知覚の正体：どこまでが知覚でどこからが創造か</a>	古賀一男 著	河出書房新社	080/137/32
<a href="#">罪と罰 上・中・下</a>	ドストエフスキー 著 亀山郁夫 訳	光文社	080/144/1-1~3
<a href="#">貧しき人々</a>	ドストエフスキー 著 安岡治子 訳	光文社	080/144/5
<a href="#">人生の答えは家庭科に聞け!</a>	堀内かおる, 南野忠晴 著 和田フミ江 画	岩波書店	081/79/828
<a href="#">正しいパンツのたたみ方：新しい家庭科勉強法</a>	南野忠晴 著	岩波書店	081/79/674
<a href="#">新・大学でなにを学ぶか</a>	上田紀行 編著	岩波書店	081/79/912
<a href="#">Le deuxième sexe 第二の性</a>	ポーヴォワール 著 生島遼一 訳	人文書院	085/2/6, 085/2/7
<a href="#">知的生活の方法</a>	渡部昇一 著	講談社	S0/9563
<a href="#">職業としての学問</a>	マックス・ウェーバー 著 尾高邦雄 訳	岩波書店	S0/9564
<a href="#">大学で勉強する方法</a>	A.W.コーンハウザー 著	玉川大学出版部	1820
<a href="#">日本人は何を考えたのか</a>	NHK取材班 編著	NHK出版	121/166

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">ニーチェ勇気の言葉</a>	グド・ル・ニチ 著 白取春彦 編訳	ディスカヴァー・トゥエンティワン	S1/10283
<a href="#">女子の人間関係：整理整頓</a>	水島広子 著	サンクチュアリ出版	S1/10322
<a href="#">幸せな私のはじめかた</a>	宇佐美百合子 著	サンクチュアリパブリッシング	S1/12578
<a href="#">人はなぜ色に左右されるのか：人間心理と色彩の不思議関係を解く</a>	千々岩英彰 著	河出書房新社	S1/11267
<a href="#">君たちはどう生きるか</a>	吉野源三郎 著	岩波書店	S1/15997
<a href="#">有職文様図鑑</a>	八條忠基 著	平凡社	210/1520
<a href="#">公務員赤松良子：こんな生き方がしたい</a>	杉山由美子 著	理論社	S2/11094
<a href="#">赤松良子：志は高く</a>	赤松良子 著	日本図書センター	S2/11099
<a href="#">コミュニティデザイン：人がつながるしくみをつくる</a>	山崎亮 著	学芸出版社	318/122
<a href="#">サードプレイス：コミュニティの核になる「とびきり居心地よい場所」</a>	レイ・カデルバーク 著 忠平美幸 訳	みすず書房	361/2148
<a href="#">基礎社会学</a>	永井良和, 間淵領吾 大和礼子 編	世界思想社	361/2149
<a href="#">ファッションで社会学する：Doing sociology through fashion</a>	藤田結子, 成実弘至, 辻泉 編	有斐閣	361/2186
<a href="#">住まいが決める日本の家族：住まいはライフスタイル</a>	袖井孝子 著	TOTO出版	365/877
<a href="#">消費者カアップセミナー：大学生のための消費生活リテラシー</a>	滝川好夫 著	税務経理協会	365/886
<a href="#">「婚・産・職」女の決めどき：結婚出産仕事をいつ、どうする!?</a>	牛窪恵 著	大和書房	367/2219
<a href="#">ここ：食卓から始まる生教育</a>	内田美智子, 佐藤剛史 著	西日本新聞社	367/2220
<a href="#">フェミニスト・シティ</a>	レスリー・カーン 著 東辻賢治郎 訳	晶文社	購入準備中
<a href="#">ライフワイドの視点で築く学びと育ち：障害のある子ども・青年の自分づくりと自分みがき</a>	國本真吾 著	日本標準	購入準備中
<a href="#">構成的グループエンカウンター・ミニエクササイズ56選, 小学校版</a>	八巻寛治 著	明治図書出版	371.43/171
<a href="#">学級集団づくりのゼロ段階：Q-U式学級集団づくり入門</a>	河村茂雄 著	図書文化社	374.1/43

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">成功する板書のしかたとノート指導</a>	丹伊田弓子 監修	新星出版社	375.1/373
<a href="#">アクティブ・ラーニング実践の手引き：各教科等で取り組む「主体的・協働的な学び」</a>	田中博之 著	教育開発研究所	375.1/405
<a href="#">イラスト版子どものソーシャルスキル：友だち関係に勇気と自信がつく42のメソッド</a>	相川充, 猪刈恵美子 著	合同出版	375.1/447
<a href="#">無理なくできる学校のICT活用：タブレット・電子黒板・デジタル教科書などを使ったアクティブ・ラーニング</a>	谷川元洋 監修-著	学事出版	375.19/230
<a href="#">小学校にプログラミングがやってきた! 超入門編</a>	上松恵理子 編著	三省堂	375.19/232
<a href="#">「小1プロブレム」解決ハンドブック：発達障害がある子どもにも完全対応</a>	月森久江 監修	講談社	375.2/119
<a href="#">刑務所の中の中学校</a>	角谷敏夫 著	しなのき書房	376.3/9
<a href="#">学び合う場のつくり方：本当の学びへのファシリテーション</a>	中野民夫 著	岩波書店	377.15/110
<a href="#">動物園教育で子どもたちがアクティブに!：主体的な学びを支援する楽しい観察プログラム</a>	松本朱実 著	学校図書	入手不可
<a href="#">通常学級のユニバーサルデザインプランzero：気になる子の「周囲」にアプローチする学級づくり</a>	阿部利彦 編著	東洋館出版社	378/999
<a href="#">障がいのある子の就学・進学ガイドブック 改訂版</a>	渡部昭男 著	日本標準	378/1169
<a href="#">服飾の表情</a>	小池三枝 著	勁草書房	383/1074
<a href="#">カラー判十二単のはなし：現代の皇室の装い</a>	仙石宗久 著	オクターブ	383/1782
<a href="#">ファッションの文化社会学</a>	ジョアン・フィカルクワイ 著 実弘全 訳	せりか書房	383/1282
<a href="#">下着の文化史</a>	青木英夫 著	雄山閣出版	383/1333
<a href="#">日本料理の歴史</a>	熊倉功夫 著	吉川弘文館	383/1506
<a href="#">衣服で読み直す日本史：男装と王権</a>	武田佐知子 著	朝日新聞社	383/1646
<a href="#">服飾の歴史をたどる世界地図：現在のスタイルになった、意外なルーツと変遷とは?</a>	辻原康夫 著	河出書房新社	383/1661
<a href="#">別冊歴史REAL 江戸の食大図鑑</a>	洋泉社MOOK 別冊歴史REAL	洋泉社	383/1675
<a href="#">子どもによる 子どものための「子どもの権利条約」</a>	小口尚子, 福岡鮎 美文	小学館	J31/2



書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">福祉の思想</a>	糸賀一雄 著	日本放送出版協会	S3/5531
<a href="#">「女のしあわせ」がなくなる日：“本当にハッピーな人生”を手に入れるためにすべきこと</a>	ももせいづみ 著	主婦の友社	S3/7185他
<a href="#">就活は3年生からでは遅すぎる!：内定を勝ち取るための、大学1～2年生の過ごし方</a>	田宮寛之 著	東洋経済新報社	S3/9491
<a href="#">江戸・東京下町の歳時記</a>	荒井修 著	集英社	S3/9492
<a href="#">働き方革命：あなたが今日から日本を変える方法</a>	駒崎弘樹 著	筑摩書房	S3/9495
<a href="#">日本とフランス二つの民主主義：不平等か、不自由か</a>	薬師院仁志 著	光文社	S3/9539
<a href="#">自立家族：個の時代のライフ・イメージ</a>	四方洋, 渡辺まゆみ 著	有斐閣	S3/9540
<a href="#">女子力就活!：内定率100%の就活スクールの最強メソッド</a>	野村絵里奈, 会田幸恵 著	ポプラ社	S3/10742
<a href="#">木綿以前の事</a>	柳田国男 著	岩波書店	S3/11274
<a href="#">これからも働き続けるあなたへ：働く女性の不安をやわらげる42の処方箋</a>	太田彩子 著	大和書房	S3/12540
<a href="#">経済とおかねの超基本1年生：知らないと損する：おとなの学習参考書</a>	大江英樹 著	東洋経済新報社	S3/12541
<a href="#">女子学生はなぜ就活で騙されるのか：志望企業全滅まっしぐらの罠</a>	石渡嶺司 著	朝日新聞出版	S3/13873
<a href="#">自分をいかして生きる</a>	西村佳哲 著	筑摩書房	S3/17116
<a href="#">学校の「当たり前」をやめた。：生徒も教師も変わる! 公立名門中学校長の改革</a>	工藤勇一 著	時事通信社	S3/17137
<a href="#">だから、僕らはこの働き方を選んだ：東京R不動産のフリーエージェント・スタイル</a>	馬場正尊, 林厚見, 吉里裕也 著	ダイヤモンド社	S3/20549
<a href="#">結婚と家族のこれから：共働き社会の限界</a>	筒井淳也 著	光文社	S3/21328
<a href="#">デザイン思考が世界を変える：イノベーションを導く新しい考え方</a>	ティム・ブラウン 著 千葉敏生 訳	早川書房	S3/22588
<a href="#">「ヨコへの発達」とは何か：障害の重い子どもの発達保障</a>	垂髪あかり 著	日本標準	S3/22893
<a href="#">相関分析の基本と活用：実践に役立つ統計的方法</a>	内田治 著	日科技連出版社	417/445
<a href="#">味覚と嗜好のサイエンス</a>	伏木亨 著	丸善	491/2687

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">食育のすすめ：豊かな食卓をつくる50の知恵 増補版</a>	服部幸應 著	マガジンハウス	498.5/516
<a href="#">水と調理のいろいろ</a>	香西みどり 著	光生館	498.53/1265
<a href="#">中学数学再入門：できる、やさしい、役に立つ</a>	中山理 著	中央公論新社	S4/8254
<a href="#">1.5歳の寺子屋 ペンギンの教え</a>	小菅正夫 著	講談社	S4/9490
<a href="#">3・1・2弁当箱ダイエット法：たのしい食育 BOOK</a>	足立巳幸・針谷順子 著	群羊社	S4/9755
<a href="#">点と線の不思議</a>	一松信	講談社	S4/11258
<a href="#">図解でわかる最新エクセルのデータ分析がみる みるわかる本</a>	道用大介 著	秀和システム	S4/18961
<a href="#">それはエコまちがい？：震災から学んだ、 2030年の心豊かな暮らしのかたち</a>	東北大学大学院環境科学研究科 震災復興提言ワーキンググル ープ 編	プレスアート	501/303
<a href="#">ユニバーサルデザインのちから：社会人のため のUD入門</a>	関根千佳 著	生産性出版	501/304
<a href="#">都市のイメージ</a>	ケヴィン・リンチ 著 丹下健三、富田玲子 訳	岩波書店	518/382
<a href="#">都市をたたく：人口減少時代をデザインする都 市計画</a>	饗庭伸著	花伝社	購入準備中
<a href="#">持続可能な社会をめざす8人のライフスタイル</a>	名倉幸次郎 著	白水社	519/1370
<a href="#">未来へつなぐたからもの：持続可能な社会を考 える</a>	名古屋大学大学院環境学研究科 しんきん環境事業（J/A-ツヨク）附 講座 編	風媒社	519/1378
<a href="#">サーキュラーエコノミー実践：オランダに探る ビジネスモデル</a>	安居昭博 著	学芸出版社	519/1431
<a href="#">地球環境を考える</a>	石弘之、鈴木英夫、 鈴木基之 共著	丸善出版	入手不可
<a href="#">建築は詩：建築家吉村順三のことは100</a>	吉村順三 著	彰国社	520/247
<a href="#">宮脇檀 旅の手帖</a>	宮脇檀 著、宮脇彩 編	彰国社	520/298
<a href="#">小さな矢印の群れ：「ミース・モデル」を超え て</a>	小嶋一浩 著	TOTO出版	520/355
<a href="#">町に住まう知恵：上方三都のライフスタイル</a>	谷直樹 著	平凡社	521/139
<a href="#">テキスト建築の20世紀/Textbook of theory and design in 20th century architecture</a>	本田昌昭、末包伸吾 編著	学芸出版社	523/186

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">マニエリスムと近代建築：コーリン・ロウ建築論選集</a>	コーリン・ロウ 著 伊東豊雄, 松永安光 訳	彰国社	523/23
<a href="#">環境としての建築：建築デザインと環境技術</a>	レイナー・パンナム 著 堀江悟郎 訳	鹿島出版会	525/197
<a href="#">開放系の建築環境デザイン：自然を受け入れる設計手法</a>	末光弘和, 末光陽子, 九州大学大学院末光研究室 著	学芸出版社	525/258
<a href="#">やさしさの住居学：老後に備える100のヒント</a>	清家清 著	情報センター出版局	527/386
<a href="#">建築家のすまいぶり</a>	中村好文 著	エクスナレッジ	527/533
<a href="#">住まいの解剖図鑑：心地よい住宅を設計する仕組み</a>	増田奏 著	エクスナレッジ	527/556
<a href="#">家族をつくった家：くうねるところにすむところ4</a>	芦原太郎 著	インデックス・コミュニケーションズ	購入準備中
<a href="#">天然染料の科学</a>	青木正明 著	日刊工業新聞社	577/42
<a href="#">はじめて学ぶ繊維</a>	信州大学繊維学部 編	日刊工業新聞社	586/412
<a href="#">ヴィジョナリーズ：ファッション・デザイナーたちの哲学</a>	ザッパ・フランカ 著 浅倉協子 他 訳	ブルース・インターアクションズ	589/77
<a href="#">ファッションの記憶：1960-70年代おしゃれの考現学</a>	伊豆原月絵 著	東京堂出版	589/87
<a href="#">ファッション・クリエイションのひみつ</a>	大島幸治 著	東京堂出版	589/88
<a href="#">冠婚葬祭（きものと日本:1）</a>	中谷比佐子 著	情報センター出版局	593/1649
<a href="#">礼装・盛装・茶席のきもの：きものしきたりと着こなし</a>	木村孝 著 世良武史 写真	淡交社	593/1732
<a href="#">ファッションの原風景</a>	城一夫 著	明現社	593/1828
<a href="#">モードと手仕事</a>	山本祐布子 著	文化出版局	入手不可
<a href="#">誰も教えてくれなかった和食育二十四節気：春夏秋冬</a>	野崎洋光 著	光文社	596.21/122
<a href="#">TEXT BOOK テーブルコーディネート</a>	丸山洋子 著	共立速記印刷株式会社『優しい食卓』出版部	596.8/100
<a href="#">私たちの住居学：サステナブル社会の住まいと暮らし</a>	中根芳一 編著	理工学社	597/107
<a href="#">ゆたかさの住居学：家族を育む住まい100の知恵</a>	清家清 著	情報センター出版局	597/96

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">住まいを四寸角で考える</a>	安藤邦廣 著	学芸出版社	入手不可
<a href="#">服地の基本がわかるテキスタイル事典</a>	閨間正雄 著	ナツメ社	S5/15014
<a href="#">施設参謀：建設リスクを経営資源に変えるコンサルティング</a>	川原秀仁 著	ダイヤモンド社	S5/20535
<a href="#">料理と利他</a>	土井善晴, 中島岳志 著	ミシマ社	S5/21331
<a href="#">地域再生とフードシステム：6次産業直売所、チェーン構築による革新</a>	斎藤修 著	農林統計出版	611/495
<a href="#">フードビジネスのマネジメントがわかる本：数字に強い店長が育つ!!</a>	東義晴 著	柴田書店	673/112
<a href="#">お望みなのは、コーヒーですか?: スターバックスからアメリカを知る</a>	ブライアン・サイモン 著 宮田伊知郎 訳	岩波書店	673/113
<a href="#">ブランド戦略シナリオ：コンテキスト・ブランディング</a>	阿久津聡, 石田茂 著	ダイヤモンド社	675/298
<a href="#">センスは知識からはじまる</a>	水野学 著	朝日新聞出版	S6/14322
<a href="#">逆境に克つ!: サンリオピューロランドを復活させた25の思考</a>	小巻亜矢 著	ワニブックス	S6/18004
<a href="#">凡人のための地域再生入門：地元がヤバい…と思ったら読む</a>	木下斉 著	ダイヤモンド社	S6/17135
<a href="#">中国・韓国やきものと茶文化をめぐる旅</a>	谷晃 著	淡交社	751/139
茶碗に花開く桃山時代の美	徳川美術館, 五島美術館 編	徳川美術館：五島美術館	入手不可
<a href="#">色彩学校へようこそ</a>	末永蒼生, 江崎泰子 編著	晶文社	757/532
<a href="#">色彩の世界地図</a>	21世紀研究会 編	文藝春秋	757/621
<a href="#">色の知識：名画の色・歴史の色・国の色：color museum in the world</a>	城一夫 著	青幻舎	757/658
<a href="#">色の不思議世界</a>	小町谷朝生 著	原書房	757/683
<a href="#">デザインの生態学：新しいデザインの教科書</a>	後藤武, 佐々木正人, 深澤直人 著	東京書籍	757/714
<a href="#">色彩の魔力</a>	浜本隆志, 伊藤誠宏 編著	明石書店	757/715
<a href="#">大正・昭和の色彩ノート：配色事典</a>	和田三造 著	青幻舎	757/735/1

書名	著者名	出版社	請求記号
<a href="#">大正・昭和の色彩と商品デザイン：配色事典 応用編</a>	和田三造 著	青幻舎	757/735/2
<a href="#">Re design：日常の21世紀</a>	株式会社竹尾 編	朝日新聞社	757/753
<a href="#">すぐわかる日本の伝統色</a>	福田邦夫 著	東京美術	757/755
<a href="#">日本の古典装飾：天平から江戸の時代様式にみる</a>	河邊正夫 編	青幻舎	757/766
<a href="#">ボクの先生は山と川</a>	矢口高雄 著	白水社	S7/9542
<a href="#">論文の書き方</a>	清水幾太郎 著	岩波書店	816/28
<a href="#">論文をどう書くか：私の文章修業</a>	佐藤忠男 著	講談社	S8/9543
<a href="#">生きることの先に何かがある：パリ・メニルモンタンのきらめきと闇</a>	浅野素女 著	さくら舎	914.6/350
<a href="#">弱さの思想：たそがれを抱きしめる</a>	高橋源一郎, 辻信一 著	大月書店	914.6/358
<a href="#">「悪知恵」のすすめ：ラ・フォンテーヌの寓話に学ぶ処世訓</a>	鹿島茂 著	清流出版	951/38
<a href="#">人生の塩：豊かに味わい深く生きるために</a>	フランソワーズ・エリチエ 著 井上たか子, 石田久仁子 訳	明石書店	954/21
<a href="#">アルケミスト：夢を旅した少年</a>	パウロ・コエーリョ 著 山川紘矢, 山川亜希子 訳	角川書店	S9/3741 他
<a href="#">カラマーゾフの兄弟 1～5</a>	ドストエフスキー 著 亀山郁夫 訳	光文社	S9/5956～5960
<a href="#">りんごの涙</a>	俵万智 著	光文社	S9/9541
<a href="#">黒い雨</a>	井伏鱒二 著	新潮社	S9/7899
<a href="#">たとへば君：四十年の恋歌</a>	河野裕子, 永田和宏 著	文藝春秋	S9/9493